

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
友部駅周辺地区

令和2年3月

茨城県笠間市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	NPO法人等活動団体数	団	149.0	160.0	204.0	確定 ● 見込み ○	○	あり なし	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民活動への参加に対する啓発が進むとともに、空間市地域交流センターともべ「Tomoa」が整備され、同施設を活動の場として利用する団体が増加した。
指標2	定期的な運動習慣	%	33.9	35.0	40.0	確定 ● 見込み ○	○	あり なし	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ヘルスロードの整備に伴い、ウォーキングイベントの開催等を行うことによって、市民の認知度が向上し利用が促進されている。
指標3	狭あいな道路の解消数	件	0.0	102.0	118.0	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし	118.0	R1年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画に位置づけた路線の道路改良が進んだことにより、宅地へアクセスする道路の狭あい区間が解消された。
指標4	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合	%	36.19	38.70	38.68	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし	30.28	R1年9月	△	調査対象が無作為抽出であるため、調査結果のばらつきが大きかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本市の玄関口である友部駅周辺において、本事業による基盤整備が進むとともに、空間市地域交流センターともべ「Tomoa」が開設されたことにより、利便性と賑わいのある市街地づくりに向けた環境が創出されたと考えられ、今後、空間市地域交流センターともべ「Tomoa」が市民に浸透することにより、指標の達成が期待される。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	空間市地域交流センターともべ「Tomoa」の利用者数 来館者数	人	65,592	/	68,000	確定 ● 見込み ○	○	あり	72,900	H31年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空間市地域交流センターともべ「Tomoa」の開設後の向上や講座の充実に伴い利用者数の増加がみられ、市民の交流の場として活用されている。
その他の数値指標2	友部地区居住者のうち「良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合」	%	36.86	/	40.00	確定 ● 見込み ●	○	/	33.00	R1年9月	/	調査対象が無作為抽出であるため、調査結果のばらつきが大きかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	友部駅周辺において、本事業による面的な事業の実施や関連事業である、地域医療センターかさまの整備が行われたことにより、駅周辺の拠点性の向上と来街機会の増加が図られている。 駅周辺での施設集積により、来街動機も増加しており、市街地環境に対する満足度も今後向上すると期待される。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」の運営体制の 充実	○運営協議会(年2回)や「地域交流センターいわま」を含めた指定管 理者との定例会(奇数月)により、施設利用、自主事業の実施に向け、 情報共有・意見交換を実施した。 ○イベント開催に関して、館内掲示板以外に、市広報紙やホームペー ジの活用、関連施設へのパンフレットの配布など広報の充実を努めた。	○通常の施設貸出に加えて、自主事業の見直し等を実 施したことで、昨年同月比(1月末現在)において、施設利 用者58,142人から57,068人(1,074人減)、利用団体2,176 団体から2,189団体(13団体増)となった。 ○昼間の施設利用と比較して、夜間の施設利用率が低いことから、自主 事業であるトモアカルチャー講座の開催等で頻度向上を図る。 ○カフェの営業時間やメニューの改善など運営の見直しを図る。 ○従来の広報活動に加え、トモアでの活動状況や施設広報を関連施設 と協力し、更なる周知に努める。 ○施設維持に向けた点検強化(補修改善)を実施する。
改善策	空き店舗の利活用促進	○市街地活性化対象区域内において、地域の活性化及び地域の振興 に資することを目的として、市民等が自主的・主体的に行う事業に対し て、笠間市市街地活性化事業補助金を交付し、空き店舗の利活用を促 進した。	○空き店舗の利活用 1件
・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	駅前市街地の賑わい創出	○立地適正化計画において、駅前市街地を含む駅周辺を、都市機能誘 導区域に位置付け、大規模な店舗や複合商業施設などを誘導施設に 位置付けた。	(令和2年策定のため、具体的な結果は、なし)
	市庁舎や図書館周辺までを含んだ区域でのまちづくり	○令和元年度から、市庁舎のリニューアル工事が開始されており、庁 舎とともに沿道空間の整備計画の検討が進められている。また、県道 平友部停車場線の無電柱化も進められている。	○駅前の歩行者空間や市庁舎の利便性向上により、来 訪者の利便性が向上すると考えられる。 ○次年度、改修が完了したのち、利用者の動向を注視しながら、市街地 の拠点として利便性向上に取り組む。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項